

(記入例)

令和 年 月 日

広島市教育委員会 様

住 所

名前等

埋蔵文化財の発掘について（届け・通知）

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したので、文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号) [第 93 条第 1 項・第 94 条第 1 項]の規定により、別記 1 の事項について、関係書類を添付し、別記 2 のとおり[届け出・通知し]ます。

文化財保護法の規定により、国の機関、地方公共団体及び国・地方公共団体の設立した法人で政令の定めるものが埋蔵文化財の発掘（埋蔵文化財包蔵地内における掘削等の土木工事）を行う場合は第 94 条第 1 項により 通知、その他が行う場合は第 93 条第 1 項により 届け出ることとされています。

別 記 1

- 1 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
- 2 土木工事等をしようとする土地の面積
- 3 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- 4 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類・時代及び名称並びに現状
- 5 当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
- 6 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 7 当該土木工事等の施工担当責任者の氏名及び住所
- 8 当該土木工事等の着手の予定時期
- 9 当該土木工事等の終了の予定時期
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類】

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

このページは、「別記2」の項目名を列記したもので、記入を要する部分はありません。

別 記 2 **記入例**

93 条第 1 項・**94 条第 1 項** (該当を○で囲む)

1. 所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地 (工事に係る範囲のみ。地番まで記入)		
2. 面積	〇〇〇㎡ (工事に係る範囲の面積)		
3. 土地所有者	氏名等：	多数になる場合には別に一覧表を添付する等の方法をとってください	
	住 所：		
4. 遺跡の種類	包含地 集落跡 貝塚 官衙跡 城館跡 寺社跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡()		
	遺跡の名称 〇〇城跡		
	遺跡の現状 宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他 ()		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他 ()		
5. 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 ダム 学校 住宅 工場 その他建物 ()		
	宅地造成 土地区画整理 公園造成 ガス 電気 水道 電話 農業関連 土砂採取 観光開発 遺跡整備 その他開発 (安全対策工事)		
6. 工事の概要	(例：既存の井戸跡の周囲に、周辺住民等の侵入・転落防止用のフェンスを設置する。このフェンス設置に伴い、一辺約〇cm、深さ約〇cmの穴を〇箇所掘削し、支柱の基礎を設置する。)		
7. 工事主体者	氏名等：	土木工事の事業主体者のこと。 普通はこの通知の提出者と同じになるはずです。	
	住 所：		
7. 施工責任者	氏名等：	土木工事の施工責任者のこと。 未定の場合は「未定」と記入。	
	住 所：		
8. 着手時期	年 月 日	9. 終了時期	年 月 日
10. 参考事項	工事の着手・終了時期のこと。未定の場合は「未定」と記入、あるいは空白にする。大まかに決まっている場合は「〇年」「〇年〇月頃」でも可。		

「文化財等の有無及び取扱い」で回答したとおり

作業内容は概略で結構ですが、取扱い判断の参考とするため、掘削・盛土の幅・深度や工事後の用途を記入するようにしてください。